

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日	校長名		所在地																										
麻生美容専門学校		平成14年3月29日	林 宏治		〒812-0016 福岡市博多区博多駅南1-13-16 (電話) 092-415-2373																										
設置者名		設立認可年月日	代表者名		所在地																										
学校法人麻生塾		昭和26年3月12日	理事長 麻生 健		〒820-0018 福岡県飯塚市芳雄町3-83 (電話) 0948-25-5999																										
分野	認定課程名	認定学科名			専門士	高度専門士																									
衛生	衛生専門	美容科			平成16年文部科学省 告示第30号	—																									
学科の目的	本学科は、美容師に必要なとなる知識技能を修得せしめ、社会に有為有能なる実践的人材を養成することを目的とする。																														
認定年月日	平成26年3月31日																														
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																								
2年	昼間	70	17	2	63	-	-																								
生徒総定員		生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																									
228人の内数		196人	1人	13人	32人	45人																									
学期制度	■前期:4月1日~9月30日 ■後期:10月1日~3月31日			成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 各期毎5段階にて評価 担当教員が定期試験、出席等の状況をもとに評価																										
長期休み	■夏季:8月10日~8月13日、9月9日~9月30日 ■冬季:12月20日~1月5日 ■春季:3月7日~4月2日			卒業・進級 条件	学則で定める当該年度における必要な時間数を履修していること。各学期試験の 通年評価がC評価(60点)以上であること。教科の区分ごとにその教科課目の3 分の2以上(実習を伴う教科課目は5分の4以上)出席していること。																										
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 担任および学科教員との個別ガイダンスの実施。 学科責任者との面談、三者面談の実施。			課外活動	■課外活動の種類 ボランティア活動 ■サークル活動: 有																										
就職等の 状況※2	■主な就職先・業界等(令和2年度卒業生) 美容サロン・美容業界(TONI & GUY/PEEK-A-BOOなど) ■就職指導内容 就職希望リサーチ・三者面談・個人面談・履歴書添削指導・面接指導 ■卒業生数 68 人 ■就職希望者数 65 人 ■就職者数 64 人 ■就職率 98.5 % ■卒業者に占める就職者の割合 : 94.1 % ■その他 就職斡旋を希望しない者 3人 内定後就職辞退者 1人 (令和 2 年度卒業者に関する 令和3年5月1日 時点の情報)			主な学修成果 (資格・検定等) ※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和2年度卒業者に関する令和3年5月1日時点の情報) <table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>美容師国家試験</td> <td>②</td> <td>68人</td> <td>59人</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①~③の いずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄			資格・検定名	種	受験者数	合格者数	美容師国家試験	②	68人	59人																
資格・検定名	種	受験者数	合格者数																												
美容師国家試験	②	68人	59人																												
中途退学 の現状	■中途退学者 13 名 ■中退率 7 % 令和2年5月1日時点において、在学者182名(令和2年4月1日入学者を含む) 令和3年3月31日時点において、在学者169名(令和3年3月31日卒業者を含む) ■中途退学の主な理由 13名中8名が進路変更によるもの。学習意欲低下によるものが3名。体調不良、自己都合によるものがそれぞれ1名。 ■中退防止・中退者支援のための取組 担任制をクラス担当制としており、2名がクラス担当として存在している。またクラス担当は学年担当であり学年全体の担当の意識で学生への対応を行っている。相談しやすい環境を準備するとともに、気になる学生は即時情報共有を行い全体で気にかけて声掛けを行っている。また些細な変化にも目を配り面談を実施している。																														
経済的支援 制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 経済的理由により修学困難である者に対して授業料を減免する。 東日本大震災により被災した進学が困難になった者を対象に入学金・校納金・寮費を卒業まで全額免除する。 ■専門実践教育訓練給付: 給付対象 前年度の給付実績者数:0人																														
第三者による 学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無																														
当該学科の ホームページ URL	URL: <a href="https://asojuku.ac.jp/abc/beauty/">https://asojuku.ac.jp/abc/beauty/</a>																														

1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

厚生労働省の指針に合わせ、美容業界で即戦力として活躍できる美容師としての基礎をしっかりと学び、2年間で美容師国家資格取得を目指す。また、世界基準の世界規模のサロンであるTONI&GUY国際基準資格(カット)の取得をはじめ、最先端技術と人間性・創造性を併せ持つ「世界基準の美容師」を目指す。また、適宜に編成委員会を開催し授業内容などについて確認を行うと共に、企業等より実習授業および教員に対する研修を組織的に行う。実際にサロンでの実務実習を行うことで、企業から得られる要望を教育に活かす。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

専門性に関する動向や方向性などについて意見交換を通じ、より実践的な職業教育の質を確保することを目的としている。

委員会では次の事項を審議し、会議の結果を学科内でのカリキュラム会議に報告、反映する。

- ①カリキュラムの企画・運営・評価に関する事項
- ②各授業課目の内容・方法の充実および改善に関する事項
- ③教科書・教材の選定に関する事項
- ④その他教員としての資質能力の育成に必要な研修に関する事項

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和3年7月1日現在

名前	所属	任期	種別
永倉 瑞恵	一般社団法人JMA 理事	令和3年4月1日～ 令和4年3月31日(1年)	①
鮎川 忠明	株式会社フレア 取締役	令和3年4月1日～ 令和4年3月31日(1年)	③
林 宏治	麻生美容専門学校 校長	令和3年4月1日～ 令和4年3月31日(1年)	
三並 恒功	麻生美容専門学校 校長代行	令和3年4月1日～ 令和4年3月31日(1年)	
渡邊 正明	麻生美容専門学校 主任	令和3年4月1日～ 令和4年3月31日(1年)	
西依 優	麻生美容専門学校 副主任	令和3年4月1日～ 令和4年3月31日(1年)	
山口 薫	麻生美容専門学校 副主任	令和3年4月1日～ 令和4年3月31日(1年)	

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)年2回 (9月、2月)

(開催日時(実績))

第1回 令和2年9月2日 15:00～17:00

第2回 令和3年2月17日 15:00～17:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

介護施設をご利用の方が存外が多く、これからを見据えてどのような展望があるかとの問いに、福祉美容の資格の取得の重要性・必要性が挙げられた。麻生美容専門学校では文科省委託事業である訪問美容人材育成協議会にて3年計画で準備に関わった。福祉美容の資格をお持ちの講師を招き模擬授業を行った。学生たちも福祉美容に興味を持っている者が多く、非常に有意義な講習となった。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

実習の受け入れ先の美容室の実習担当者と本校美容科教員が実務実習の実施前に打ち合わせを行い、実習内容の詳細を決定すると共に、学生の学修成果の方法についても打ち合わせを行い決定する。実習期間中は美容科教員が各サロンに実習期間中に訪問を行い学生の実習状況について直接確認する。またサロンの実習担当者と情報交換を行う。実習終了時には実習先からの評価を踏まえ、単位認定を行う。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容  
 ※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記  
 ヘアテクニックの授業担当教員は、TONI&GUYと締結している契約書に基づいてトニーアンドガイジャパンが主催する講習の受講を義務付け、認定講師の資格を取る必要がある。  
 そのうえで授業スケジュールやレクチャー法等を打ち合わせ学生に指導する。ベーシックコース、フューチャーファンデーションコースともに最終試験はTONI&GUY本部講師を招いて実施し、合格基準に達している学生に対し、認定書を発行する。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
美容実習	原則として1年次に60時間の美容室での現場実習を行う。	(株)田谷、(株)トニーアンドガイジャパン (株)SARA、(株)ネオ・アーデントなど
ヘアテクニック	1年次でベーシックコース修了 2年次でフューチャーファンデーションコース修了	(株)トニーアンドガイジャパン

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針  
 教職員に対して、現在就いている職務または将来就くことが予想されるしよくむの遂行に必要な知識・技能を修得させ、その遂行に必要な教職員の能力および資質などの向上を図ることを目的として研修を受講させる。「教職員研修規程」に則り、専攻分野における実務に関する研修や指導力の修得・向上のための研修を教職員の業務経験や能力、担当する授業科目や授業以外の担当業務に応じて実施し、より高度な職務を遂行するために必要な知識を修得させる。年度の初めに研修計画を作成し、各教職員のスキルに適した研修が計画的に受講できるようにする。また必要に応じ、年初の計画以外の研修受講も可能としている。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

・研修名「TONI&GUY教育提携校認定講師資格取得研修」(連携企業等:トニーアンドガイジャパン)  
 期間: 令和3年3月29日(月)～令和3年3月31日(水) 対象: 4名  
 内容: 認定講師資格取得の為、ベーシック・ファンデーションともに修了試験にて合格基準を目指す。

② 指導力の修得・向上のための研修等

・研修名「多様化する学生への指導について考える」(連携企業等: NPO法人FDA理事長 成澤俊輔 氏)  
 期間: 令和3年3月5日(金) 対象: 2名  
 内容: 様々な悩みを抱える学生個々に対しどう接するのか。

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

・研修名「TONI&GUY教育提携校認定講師資格更新研修」(連携企業等:トニーアンドガイジャパン )  
 期間: 令和3年8月予定 対象: 4名  
 内容: 既に認定講師となっている教員を対象とし資格更新の為の研修

② 指導力の修得・向上のための研修等

・研修名「コーチング実践」(連携企業等: 組織デザイン・ラボ)  
 期間: 令和3年9月8日(水) 対象: 3名  
 内容: 欠席しがちでやる気が落ちている学生への対応事例を用い効果的な質問の実践。

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

本校の基本方針に基づき、学校運営が適正におこなわれているかを企業関係者、保護者、地域住民、高校関係者等の参画を得て、包括的・客観的に判定することで、学校運営の課題・改善点・方策を見出し、学校として組織的・継続的な改善を図る。また、情報を公表することにより、開かれた学校づくりをおこなう

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	法人の理念、学校の教育理念、学科の教育目的・育成人材像、他
(2)学校運営	運営方針、事業計画、人事・給与規程、業務効率化、他
(3)教育活動	業界の人材ニーズに沿った教育、実践的な職業教育、教職員の資質
(4)学修成果	教育目的達成に向けた目標設定、事後の評価・検証、就職率、退学
(5)学生支援	修学支援、生活支援、進路支援、卒業生への支援、他
(6)教育環境	教育設備・教具の管理・整備、安全対策、就職指導室・図書室の整
(7)学生の受入れ募集	APの明示、進路ニーズ把握、パンフレット・募集要項の内容、公正・
(8)財務	財政的基盤の確立、適切な予算編成・執行、会計監査、財務情報公
(9)法令等の遵守	専修学校設置基準の遵守、学内諸規程の整備・運用、自己点検・評
(10)社会貢献・地域貢献	社会貢献、地域貢献、学生のボランティア活動の推奨、他
(11)国際交流	留学生の受入れ、支援体制

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

今回の学校関係者評価委員会にて保護者代表から国家資格を取得率についての意見として、学費を支払って資格が取得できないという状況は納得がしがたいとの意見を頂戴した。100%は無理でも100%に近づけていく事が理想として、本校も最善を尽くし100%を目指して教育活動を行っていくと回答をした。2019年度の国家試験についても、合格率87パーセント(全国平均85.1パーセント)と、全国平均よりは高い数値であったが、受験生全員の合格を目指して教職員全員での振り返りのミーティングを実施。具体策としては、1年次から国家試験に関するe-ラーニングの導入、カットカリキュラム内容の変更を行った。今後もPDCAサイクルを循環させ、業務を継続的に改善させていく。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和3年7月1日現在

名前	所属	任期	種別
林 圭一	株式会社 ダリア 福岡営業所 課長	令和3年4月1日～令和4年3月31日(1年)	企業等委員
延 憲治郎	純真高等学校 学校長	令和3年4月1日～令和4年3月31日(1年)	高校関係者
浦川 美代子	博多駅南1丁目 自治会長	令和3年4月1日～令和4年3月31日(1年)	地域住民
末廣 正史	美容科2年生 保護者	令和3年4月1日～令和4年3月31日(1年)	保護者
奥野 祐希	プランツヘアー博多 代表取締役	令和3年4月1日～令和4年3月31日(1年)	卒業生

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ) ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他( )

URL:<https://asojuku.ac.jp/about/disclosure/doc/abc/2020/hyoka.pdf>

公開時期: 令和2年10月30日

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

本校の教育方針・カリキュラム・就職指導状況など学校運営に関して、企業等や高校関係者・保護者などに広く情報を提供することで、学校運営の透明性を図るとともに、本校に対する理解を深めていただくことを目的とする。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	歴史、教育理念、教育目標、(ASOの考え方)、(5つの特徴)
(2)各学科等の教育	入学者受入れ方針、教育課程編成・実施方針、カリキュラム、(国家資格・検定)、(就職情報)
(3)教職員	教員一覧及び実務家教員科目
(4)キャリア教育・実践的職業教育	就職サポート、GCB教育、企業連携
(5)様々な教育活動・教育環境	(学校行事)、学園祭、部活動・サークル活動、学外ボランティア
(6)学生の生活支援	生活環境サポート、(留学生学習・生活サポート)、(留学生就職サポート)
(7)学生納付金・修学支援	学費とサポート、学習支援(各種支援制度)
(8)学校の財務	事業報告書、貸借対照表、収支計算書、財産目録、監査報告書
(9)学校評価	自己点検・評価、学校関係者評価
(10)国際連携の状況	(留学生入学案内)、(留学生募集分野)、グローバル教育、(海外での大学教育)
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

(ホームページ) ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他( )

URL:<https://asojuku.ac.jp/abc/>

授業科目等の概要

(衛生専門課程美容科) 令和3年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			関係法規・制度	1 衛生行政 (1)衛生行政の意義 2 美容師法 (1)法の目的 (2)美容師に対する法的規制 (3)美容所に対する法的規制	1 年次・ 後期	30	1	○			○			○	
○			衛生管理	1 公衆衛生概説 (1)公衆衛生の意義 (2)公衆衛生と美容業 (3)保健所の業務 2 感染症 (1)美容所における感染症対策 3 環境衛生 (1)環境衛生の意義と目的 (2)美容所における環境衛生 4 衛生管理技術 (1)美容所における衛生管理の意義と目的 (2)消毒法の選択と実施方法 (3)消毒法の実習	1 年次・ 前期 / 2 年次・ 通年	90	3	○			○		○	○	
○			保健	1 人体の構造及び機能 (1)人体の構造及び機能と疾病との関連 2 皮膚科学 (1)皮膚の構造 (2)皮膚付属機関の構造 (3)皮膚の循環器系と神経系 (4)皮膚と皮膚付属機関の生理機能 (5)皮膚と皮膚付属機関の保健 (6)皮膚と付属器官の疾患	1 年次・ 前期 / 2 年次・ 通年	90	3	○			○		○	○	
○			化粧品化学	1 化粧品概論 (1)化粧品の社会的意義と品質特性 2 化粧品用原料 (1)化粧品の対象となる人体各部の性状 3 基礎化粧品 (1)皮膚清浄用化粧品 4 メイクアップ用化粧品 (1)メイクアップ用化粧品の種類と錠形 5 頭皮・毛髪用化粧品 (1)シャンプー剤、スタイリング剤 6 芳香製品と特殊化粧品 (1)芳香製品	1 年次・ 前期 / 2 年次・ 後期	60	2	○			○		○	○	

(衛生専門課程美容科) 令和3年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			文化論	1 美容文化史 (1)美容ファッションの変遷 (2)美容業における流行の意義と役割 2 服飾 (1)美容における服飾の意義 (2)衣服に関するエチケット	1年次・前期 / 2年次・後期	60	2	○			○			○	
○			美容技術理論	序 美容技術理論を学ぶにあたって 1 美容用具 2 シャンプーイング 3 ヘアデザイン 4 ヘアカットイング 5 パーマネントウェービング 6 ヘアセットイング 7 ヘアカラーリング 8 エステティック 9 ネイル技術 10 メイクアップ 11 日本髪 12 着付けの理論と技術	1年次・通年 / 2年次・通年	150	5	○			○		○		
○			運営管理	1 経営管理 (1)美容業における経理事務 2 労務管理 (1)美容業における労務管理 3 接客法 (1)サービス・デザイン (2)マーケティング (3)サービスにおける人の役割	2年次・後期	30	1	○			○			○	
○			美容実習	1 器具の取扱実習 2 基礎技術実習 3 頭部技術実習 4 特殊技術実習 5 和装技術実習 6 総合実習 7 実務実習	1年次・通年 / 2年次・通年	900	30			○	○	○	○	○	○

(衛生専門課程美容科) 令和3年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当 年次・学期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			ヘアテクニック	1 ヘアカット 2 シャンプー&ブロー 3 ヘアカラー 4 ヘアセット&着付け 5 企業実務 6 美容業界研究	1 年次・通年/ 2 年次・後期	240	8			○	○		○	○	○
○			ビューティースキル	1 メイクアップ 2 ネイル 3 接遇	1 年次・通年/ 2 年次・前期	180	6			○	○		○	○	
○			デザイン	1 ファッション 2 デッサン 3 カラーコーディネート	1 年次・通年/ 2 年次・前期	90	3			○	○		○	○	
	○		専門選択 (ヘアデザイナーコース)	1 カットイング 2 ブロードライニング 3 ヘアスタイリング	2 年次・前期	120	4			○	○		○	○	○

(衛生専門課程美容科) 令和3年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
	○		専門選択 (ヘアメイクアップアー ティストコース)	1 メイクアップ 2 ヘアアレンジ 3 ヘアカラー 4 フォトシューティング	2 年次・ 前期	120	4			○	○		○	○	
	○		専門選択 (ブライダルスタイリス トコース)	1 ブライダルヘアアレンジ 2 ブライダルメイクアップ 3 和装・洋装着付け 4 フラワーアレンジメント	2 年次・ 前期	120	4			○	○		○	○	○
	○		専門選択 (メイク・ネイル・アイ コース)	1 スキンケア～フルメイク 2 アイラッシュ 3 ネイルケア	2 年次・ 前期	120	4			○	○		○	○	
○			GCB	1 感謝心と思いやり 2 志を立てる	1 年次・ 前期 / 2 年次・ 前期	30	2			○	○		○		
					16科目			2430単位時間(82単位)							

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
厚生労働大臣の指定した美容師養成施設において定められた法定時間（履修時間）を履修していること。（学則で定める当該年度における必要な時間数を履修していること。）各学期、教科課目の区分ごとに、その教科課目の3分の2以上（実習を伴う教科課目は5分の4）以上出席を満たしていること。 当該学年において履修すべき課目の各学期ごと試験の通年評価が必修課目60点（C評価）以上、選択必修課目60点（C評価）以上であること。	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	17週